

奨学金の返還に関するアンケート調査への協力をお願い

日本学生支援機構では、より一層返還しやすい仕組みを考えるため、返還中の方を対象にアンケート調査を行っています。この調査票は平成26年11月30日現在返還が遅れている方の中から選ばれた方にお送りしています。お忙しいところ恐縮ですが、本調査へのご協力をお願いします。

回答については、この用紙に直接、番号などをご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、平成27年1月30日(金)までに投函してください。個々の内容について、外部にもれることや調査の目的以外に使用することは決してございません。

今後の返還方法や奨学金制度を充実させるためには、一人でも多くの方から回答をいただくことが大変重要です。重ねて本調査へのご協力をよろしく申し上げます。


平成27年1月

独立行政法人日本学生支援機構
奨学金事業部奨学総務課

この回答用紙または同封の返信用封筒により個別の相談には、対応していません。
奨学金の返還について、ご不明な点は日本学生支援機構ホームページ<<http://www.jasso.go.jp>>をご覧ください。
ご相談、お問い合わせは奨学金返還相談センター 電話:0570-666-301(ナビダイヤル・全国共通)までお願いします。
また、ナビダイヤルをご利用できない場合は03-6743-6100へおかけください。

※以下の設問の中で「奨学生本人」又は「本人」とは奨学金の貸与を受けられた方のことです。


- 1 このアンケートに回答された方はどなたですか。あてはまる番号を一つ記入してください。 1
- ①奨学生本人 ②本人の父母 ③本人の兄弟姉妹 ④本人の祖父母 ⑤本人のおじ・おば ⑥本人の配偶者
⑦その他()
- 1-2 設問1で、「②～⑦」と回答した方にお聞きます。 1-2
- 回答された方について、あてはまる番号を一つ記入してください。
- ①連帯保証人である ②保証人である ③機関保証の「本人以外の連絡先」である
④「①～③」の二つ以上にあてはまる ⑤「①～④」にあてはまらない ⑥わからない
- 2 奨学生本人の状況についてお聞きます。 2
- 本人の就労状況について、最もあてはまる番号を一つ記入してください。
- ①常勤社(職)員 ②常勤社(職)員(雇用期限がある) ③非常勤社(職)員(週あたりの勤務時間が短く、雇用期限がある)
④派遣社員 ⑤自営業/家業 ⑥学生(留学を含む) ⑦専業主婦(夫) ⑧無職・失業中/休職中
⑨その他()

 右側に続く

- 3 奨学生本人に配偶者はいますか。あてはまる番号を一つ記入してください。 E
3
①いる ②いない ③わからない
- 3-2 設問3で「①いる」と答えた方にお聞きします。配偶者は被扶養者ですか。 3-2
①はい ②いいえ ③わからない
- 3-3 設問3で「①いる」と答えた方にお聞きします。配偶者はJASSOの奨学金の貸与を受けていましたか。 3-2
①はい ②いいえ ③わからない
- 4 奨学生本人に被扶養者は何人いますか。 4
※設問3-2で「①はい」と答えた方は、配偶者も人数に含めてください。
被扶養者がいない場合は「0」と記入してください。わからない場合は無記入としてください。
- 5 奨学生本人の収入（最近1年分）についてお聞きします。あてはまる番号を一つ記入してください。 5
①0円 ②～100万円未満 ③100～200万円未満 ④200～300万円未満
⑤300～400万円未満 ⑥400～500万円未満 ⑦500～600万円未満 ⑧600～700万円未満
⑨700～800万円未満 ⑩800～900万円未満 ⑪900～1000万円未満 ⑫1000万円以上
- 6 奨学生本人は奨学金に返還義務があることをいつ知りましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。 6
①申込手続きを行う前 ②申込手続中 ③貸与中 ④貸与終了時 ⑤貸与終了後～返還開始前
⑥返還開始～督促前 ⑦延滞督促を受けてから ⑧わからない ⑨その他()
- 7 この間は、大学・短期大学・専修学校専門課程で奨学金の貸与を受けた方にお聞きします。 7
進学することをいつごろ決めましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。
①高校入学より前 ②高校1年生の時点 ③高校2年生の時点
④高校3年生の時点 ⑤高校卒業後 ⑥わからない
- 8 この間は、大学・短期大学・専修学校専門課程で奨学金の貸与を受けた方にお聞きします。 8
奨学金の申請をいつの段階で決めましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。
①高校入学より前 ②高校1年生の時点 ③高校2年生の時点
④高校3年生の時点 ⑤高校卒業後 ⑥わからない
- 9 奨学金の申請をどなたかに勧められましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。 9
①勧められた ②勧められなかった ③わからない
- 9-2 設問9で「①勧められた」と回答した方にお聞きします。 9-2
どなたに勧められたか、最もあてはまる番号を一つ記入してください。
①親(または祖父母等の家族、親戚) ②学校の先生や職員 ③友人・知人 その他()
- 10 奨学金を申請する時に実際に書類作成等をしたのはどなたですか。 10
最も当てはまる番号を一つ記入してください。
①本人 ②親(または祖父母等の家族、親戚) ③本人と親等 ④わからない ⑤その他()
- 11 現在、主に奨学金を返還している方はどなたですか。あてはまる番号を一つ記入してください。 11
①奨学生本人 ②本人の父母 ③本人の兄弟姉妹 ④本人の祖父母 ⑤本人のおじ・おば
⑥本人の配偶者 ⑦その他()
- 11-2 設問11で「②～⑦」と回答した方にお聞きします。主に奨学金を返還している方について、 11-2
あてはまる番号を一つ記入してください。
①連帯保証人である ②保証人である ③機関保証の「本人以外の連絡先」である
④①～③の二つ以上にあてはまる ⑤①～④にあてはまらない ⑥わからない
- 12 奨学金を返還するための原資についてお聞きします。最もあてはまる番号を一つ記入してください。 12
①給与など働いて得る収入 ②年金など ③預貯金 ④その他()

裏面に続く

- 13 リレー口座(口座振替による返還)に加入していますか(又は、以前に加入していましたか)。 13
 あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①加入している(加入していた) ②加入していない
- 13-2 設問13で「①加入している(加入していた)」と回答した方にお聞きます。 13-2ア
 (「②加入していない」と回答した方は設問14へ)
 ア)リレー口座の名義人はどなたですか。あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①奨学生本人 ②本人の父母 ③本人の兄弟姉妹 ④本人の祖父母 ⑤本人のおじ・おば
 ⑥本人の配偶者 ⑦その他()
- イ)設問アで「②～⑦」と回答した方にお聞きます。
 リレー口座の名義人についてあてはまる番号を一つ記入してください。
 ①連帯保証人である ②保証人である ③機関保証の「本人以外の連絡先」である
 ④①～③の二つ以上にあてはまる ⑤①～④にあてはまらない ⑥わからない 13-2イ
- 13-3 設問13で「①加入している(加入していた)」と回答した方にお聞きます。 13-3
 リレー口座としてお使いの口座はどのような用途の口座ですか(でしたか)。
 あてはまる番号を全て記入してください。
 ①給与・年金・仕送り等収入を振り込んでいる
 ②公共料金やクレジットカードなど定期的な支払いを引き落とししている
 ③預貯金用 ④奨学金返還専用(又は準専用) ⑤その他()
- 13-4 設問13で「①加入している(加入していた)」と回答した方にお聞きます。 13-4
 リレー口座にはどのように入金していますか(していましたか)。あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①給与等の収入が振り込まれる ②年に数回程度必要額を入金 ③毎回又はほぼ毎回必要額を入金
 ④その他()
- 14 奨学生本人が病気や経済困難(年収300万円未満が目安)等である場合、申請により返還期限を延期する 14
 返還期限猶予という制度がありますが、この制度の存在をご存知ですか。
 あてはまる番号を記入してください。
 ①奨学金に申し込む前から知っていた ②返還が始まる前までには知っていた
 ③返還が始まってから知った ④延滞督促を受けてから知った ⑤知らない
- 14-2 設問14で「知っている」と回答した方にお聞きます(「知らない」と回答した方は設問15へ) 14-2ア
 ア)返還期限猶予制度(在学猶予を除く)の利用についてお聞きます。
 あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①現在、利用中である
 ②申請の準備または検討をしている(書類不備で返送されて再提出準備中の場合を含む)
 ③過去に利用したことがあるが、今は利用していない
 ④一度も利用したことがない
 ⑤その他()
- イ)設問アで「③過去に利用したことがあるが、今は利用していない」又は「④一度も利用したことがない」と回答 14-2イ
 した方にお聞きます。利用しない理由について最もあてはまる番号を一つ記入してください。
 (設問アでそれ以外を選択した方は設問ウへ)
 ①返還期限猶予制度の基準に該当しないため ②延滞期間に関する証明書の取得が困難なため
 ③すでに猶予期間(通算120ヶ月)を利用してしまったため ④猶予申請しないで返還する予定のため
 ⑤猶予申請手続きに手間がかかるため⑥手続きがよくわからない、よく知らなかったため
 ⑦その他()
- ウ)返還期限猶予制度をどこから知りましたか。 14-2ウ
 あてはまる番号を全て記入してください。
 ①奨学金申請時・採用時の資料で ②「返還のてびき」を読んで ③日本学生支援機構のホームページで
 ④機構(旧日本育英会)からの通知で ⑤返還相談センターに電話して ⑥学校の説明会で ⑦連帯保証人・保証人から
 ⑧連帯保証人・保証人以外の家族・友人から ⑨債権回収会社から ⑩その他()
- 14-2エ 設問14で「知っている」と回答した方にお聞きます。 14-2エ
 返還期限猶予制度の猶予期間の長さ(通算120ヶ月)についてお聞きます。
 あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①短い ②どちらかといえば短い ③どちらともいえない ④どちらかといえば十分 ⑤十分
- 15 奨学生本人が病気や経済困難(年収300万円未満が目安)等である場合、申請により返還期限を延長し返還の 15
 月額を減額する減額返還制度がありますが、この制度をご存知ですか。あてはまる番号を記入してください。
 ①よく知っている ②だいたい知っている ③あまり知らない ④知らない

 右側に続く

16 日本学生支援機構からお送りしている文書類についてお聞きします。 16
 あてはまる番号を一つ記入してください。

- ①必ず見る ②だいたい見る ③あまり見ない ④見ない ⑤届いていない ⑥その他()

17 日本学生支援機構はホームページで各種情報を提供しています。 17
 このホームページの閲覧についてお聞きします。最もあてはまる番号を一つ記入してください。

- ①おおよそ1ヶ月に1回以上見る ②年に数回見る ③過去に見たことがある ④見たことはない
 ⑤見ることができない ⑥その他()

18 日本学生支援機構の奨学金に対してどのようなことを感じていますか。ア～カについてそれぞれ、次の①～⑤の中からあてはまる番号を記入してください。

- ①とてもそう思う ②そう思う ③どちらともいえない ④そう思わない ⑤まったくそう思わない

- ア)日本学生支援機構からの情報提供は十分である 18ア
 イ)現在、奨学金の返還が負担になっている 18イ
 ウ)借りたものなので必ず返さなければならない 18ウ
 エ)延滞している人への回収は強化するべきである 18エ
 オ)延滞への対応がきびしい 18オ
 カ)現在の貸与型の奨学金のみでなく、給付型の奨学金が必要である 18カ

19 延滞が始まった理由(きっかけ)についてお聞きします。 19 最もあてはまるもの
 あてはまる番号を全て記入してください。また、その中で最もあてはまる番号を一つ記入してください。

- ①忙しかった(金融機関に行くことができなかったなど) 19
 ②返還を忘れていた、口座残高をまちがえていたなどのミス
 ③家計の収入が減った
 ④家計の支出が増えた
 ⑤入院、事故、災害等にあつたため
 ⑥奨学金は返還するものだとは思っていなかった
 ⑦その他()

20 現在も返還が遅れている理由についてお聞きします。 20 最もあてはまるもの
 あてはまる番号を全て記入してください。また、その中で最もあてはまる番号を一つ記入してください。

- ①本人の低所得 ②本人が失業中(無職) ③本人が学生(留学を含む)
 ④本人が病気療養中 ⑤本人の借入金の返済
 ⑥本人親の経済困難(本人が親へ経済援助しており支出が多い)
 ⑦本人親の経済困難(本人の親が返還する約束をしている)
 ⑧本人の配偶者の経済困難 ⑨家族の病気療養 ⑩忙しい(金融機関に行けない等)
 ⑪奨学金の延滞額の増加 ⑫奨学金は返還するものだとは思っていない
 ⑬その他()

20

21 今後の返還の見通しについてお聞きします。
 ア・イについて、それぞれ次の①～⑥の中から最もあてはまる番号を一つ記入してください。

- ①決められた月額等を返還できると思う ②決められた月額等の半額程度より多く返還できると思う
 ③決められた月額等の半額程度返還できると思う ④決められた月額等の半額程度より少ないが返還できると思う
 ⑤返還できないと思う ⑥わからない

- ア)現在における返還の見通しについてはいかがですか。 21ア
 イ)2～3年から数年経過した時点における返還の見通しについてはいかがですか。 21イ

22 日本学生支援機構の奨学金について、ご意見等がございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

重要

【無延滞者向け】

奨学金の返還に関するアンケート調査への協力をお願い

日本学生支援機構では、より一層返還しやすい仕組みを考えるため、返還中の方を対象にアンケート調査を行っています。この調査票は日本学生支援機構（旧日本育英会）の奨学金を受け、現在返還中の方の中から選ばれた方にお送りしています。お忙しいところ恐縮ですが、本調査へのご協力をお願いします。

回答については、この用紙に直接、番号などをご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、平成27年1月30日（金）までに投函してください。個々の内容について、外部にもれることや調査の目的以外に使用することは決してございません。

今後の返還方法や奨学金制度を充実させるためには、一人でも多くの方から回答をいただくことが大変重要です。重ねて本調査へのご協力をよろしくをお願いします。

平成27年1月

独立行政法人日本学生支援機構
奨学金事業部奨学総務課

この回答用紙または同封の返信用封筒により個別の相談には、対応していません。
奨学金の返還について、ご不明な点は日本学生支援機構ホームページ<<http://www.jasso.go.jp>>をご覧ください。
ご相談、お問い合わせは奨学金返還相談センター 電話:0570-666-301(ナビダイヤル・全国共通)までお願いします。
また、ナビダイヤルをご利用できない場合は03-6743-6100へおかけください。

※以下の設問の中で「奨学生本人」又は「本人」とは奨学金の貸与を受けられた方のことです。

- 1 このアンケートに回答された方はどなたですか。あてはまる番号を一つ記入してください。 1
- ①奨学生本人 ②本人の父母 ③本人の兄弟姉妹 ④本人の祖父母 ⑤本人のおじ・おば ⑥本人の配偶者
⑦その他()
- 1-2 設問1で、「②～⑦」と回答した方にお聞きします。 1-2
- 回答された方について、あてはまる番号を一つ記入してください。
- ①連帯保証人である ②保証人である ③機関保証の「本人以外の連絡先」である
④「①～③」の二つ以上にあてはまる ⑤「①～④」にあてはまらない ⑥わからない
- 2 奨学生本人の状況についてお聞きします。 2
- 本人の就労状況について、最もあてはまる番号を一つ記入してください。
- ①常勤社(職)員 ②常勤社(職)員(雇用期限がある) ③非常勤社(職)員(週あたりの勤務時間が短く、雇用期限がある)
④派遣社員 ⑤自営業/家業 ⑥学生(留学を含む) ⑦専業主婦(夫) ⑧無職・失業中/休職中
⑨その他()

 右側に続く

- 3 奨学生本人に配偶者はいますか。あてはまる番号を一つ記入してください。 3
 ①いる ②いない ③わからない
- 3-2 設問3で「①いる」と答えた方にお聞きします。配偶者は被扶養者ですか。 3-2
 ①はい ②いいえ ③わからない
- 3-3 設問3で「①いる」と答えた方にお聞きします。配偶者はJASSOの奨学金の貸与を受けていましたか。 3-2
 ①はい ②いいえ ③わからない
- 4 奨学生本人に被扶養者は何人いますか。 4
 ※設問3-2で「①はい」と答えた方は、配偶者も人数に含めてください。
 被扶養者がいない場合は「0」と記入してください。わからない場合は無記入としてください。
- 5 奨学生本人の収入（最近1年分）についてお聞きします。あてはまる番号を一つ記入してください。 5
 ①0円 ②～100万円未満 ③100～200万円未満 ④200～300万円未満
 ⑤300～400万円未満 ⑥400～500万円未満 ⑦500～600万円未満 ⑧600～700万円未満
 ⑨700～800万円未満 ⑩800～900万円未満 ⑪900～10000万円未満 ⑫1000万円以上
- 6 奨学生本人は奨学金に返還義務があることをいつ知りましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。 6
 ①貸与手続きを行う前 ②貸与手続中 ③貸与中 ④貸与終了時 ⑤貸与終了後～返還開始前
 ⑥返還開始～督促前 ⑦延滞督促を受けてから ⑧わからない ⑨その他()
- 7 この間は、大学・短期大学・専修学校専門課程で奨学金の貸与を受けた方にお聞きします。 7
 進学することをいつごろ決めましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①高校入学より前 ②高校1年生の時点 ③高校2年生の時点
 ④高校3年生の時点 ⑤高校卒業後 ⑥わからない
- 8 この間は、大学・短期大学・専修学校専門課程で奨学金の貸与を受けた方にお聞きします。 8
 奨学金の申請をいつの段階で決めましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①高校入学より前 ②高校1年生の時点 ③高校2年生の時点
 ④高校3年生の時点 ⑤高校卒業後 ⑥わからない
- 9 奨学金の申請をどなたかに勧められましたか。あてはまる番号を一つ記入してください。 9
 ①勧められた ②勧められなかった ③わからない
- 9-2 設問9で「①勧められた」と回答した方にお聞きします。 9-2
 どなたに勧められたか、最もあてはまる番号を一つ記入してください。
 ①親(または祖父母等の家族、親戚) ②学校の先生や職員 ③友人・知人 その他()
- 10 奨学金を申請する時に実際に書類作成等をしたのはどなたですか。 10
 最も当てはまる番号を一つ記入してください。
 ①本人が作成した ②親(または祖父母等の家族)が作成した ③本人と親等 ④わからない ⑤その他()
- 11 現在、主に奨学金を返還している方はどなたですか。あてはまる番号を一つ記入してください。 11
 ①奨学生本人 ②本人の父母 ③本人の兄弟姉妹 ④本人の祖父母 ⑤本人のおじ・おば
 ⑥本人の配偶者 ⑦その他()
- 11-2 設問11で「②～⑦」と回答した方にお聞きします。主に奨学金を返還している方について、 11-2
 あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①連帯保証人である ②保証人である ③機関保証の「本人以外の連絡先」である
 ④「①～③」の二つ以上にあてはまる ⑤「①～④」にあてはまらない ⑥わからない
- 12 奨学金を返還するための原資についてお聞きします。最もあてはまる番号を一つ記入してください。 12
 ①給与など働いて得る収入 ②年金など ③預貯金 ④その他()

裏面に続く

- 13 リレー口座(口座振替による返還)に加入していますか(又は、以前に加入していましたか)。あてはまる番号を一つ記入してください。 13
 ①加入している(加入していた) ②加入していない
- 13-2 設問13で「①加入している(加入していた)」と回答した方にお聞きます。(「②加入していない」と回答した方は設問14へ) 13-2ア
 ア)リレー口座の名義人はどなたですか。あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①奨学生本人 ②本人の父母 ③本人の兄弟姉妹 ④本人の祖父母 ⑤本人のおじ・おば
 ⑥本人の配偶者 ⑦その他()
- イ)設問アで「②～⑦」と回答した方にお聞きます。13-2イ
 リレー口座の名義人についてあてはまる番号を一つ記入してください。
 ①連帯保証人である ②保証人である ③機関保証の「本人以外の連絡先」である
 ④①～③の二つ以上にあてはまる ⑤①～④にあてはまらない ⑥わからない
- 13-3 設問13で「①加入している(加入していた)」と回答した方にお聞きます。13-3
 リレー口座としてお使いの口座はどのような用途の口座ですか(でしたか)。あてはまる番号を全て記入してください。
 ①給与・年金・仕送り等収入を振り込んでいる
 ②公共料金やクレジットカードなど定期的な支払いを引き落とししている
 ③預貯金用 ④奨学金返還専用(又は準専用) ⑤その他()
- 13-4 設問13で「①加入している(加入していた)」と回答した方にお聞きます。13-4
 リレー口座にはどのように入金していますか(していましたか)。あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①給与等の収入が振り込まれる ②年に数回程度必要額を入金 ③毎回又はほぼ毎回必要額を入金
 ④その他()
- 14 奨学生本人が病気や経済困難(年収300万円未満が目安)等である場合、申請により返還期限を延期する返還期限猶予という制度がありますが、この制度の存在をご存知ですか。 14
 あてはまる番号を記入してください。
 ①奨学金に申し込む前から知っていた ②返還が始まる前までには知っていた
 ③返還が始まってから知った ④延滞督促を受けてから知った ⑤知らない
- 14-2 設問14で「知っている」と回答した方にお聞きます(「知らない」と回答した方は設問15へ) 14-2ア
 ア)返還期限猶予制度(在学猶予を除く)の利用についてお聞きます。
 あてはまる番号を一つ記入してください。
 ①利用したことがある
 ②利用しなかったが、基準に合わなかった
 ③利用したことがない
- イ)返還期限猶予制度をどこから知りましたか。 14-2イ
 あてはまる番号をすべて記入してください。
 ①奨学金申請時・採用時の資料で ②「返還のてびき」を読んで ③日本学生支援機構のホームページで
 ④機構(旧日本育英会)からの通知で ⑤返還相談センターに電話して ⑥学校の説明会で ⑦連帯保証人・保証人から
 ⑧連帯保証人・保証人以外の家族・友人から ⑨債権回収会社から ⑩その他()
- 15 日本学生支援機構の制度についてお聞きます。ア～エについてそれぞれ、次の①～④の中からあてはまる番号を記入してください。
- ①よく知っている
②だいたい知っている
③あまり知らない
④知らない
- ア)減額返還制度(奨学生本人が病気や経済困難(年収300万円以下が目安)等である場合、返還期限を延長し毎月の返還額を減額するしくみ) 15ア
- イ)繰上返還制度(返還期日がきていない将来の返還分の一部または全額を繰り上げて返還することができるしくみ) 15イ
- ウ)一定期間延滞した場合の個人情報情報機関への登録(登録は「個人情報情報の取扱いに関する同意書」提出者のみ) 15ウ
- エ)スカラネット・パーソナル(インターネット上で自分自身の奨学金に関する情報や登録されている内容を閲覧したり、転居・改姓・勤務先変更等の届出ができるサービス) 15エ

右側に続く

- 16 日本学生支援機構からお送りしている文書類についてお聞きします。 16
- 最もあてはまる番号を一つ記入してください。
- ①必ず見る ②だいたい見る ③あまり見ない ④見ない ⑤届いていない ⑥その他()
- 17 日本学生支援機構はホームページで各種情報を提供しています。 17
- このホームページの閲覧についてお聞きします。最もあてはまる番号を一つ記入してください。
- ①おおよそ1ヶ月に1回以上見る ②年に数回見る ③過去に見たことがある ④見たことはない
⑤見ることができない ⑥その他()
- 18 日本学生支援機構の奨学金に対してどのようなことを感じていますか。ア～カについてそれぞれ、
次の①～⑤の中からあてはまる番号を記入してください。
- ①とてもそう思う ②そう思う ③どちらともいえない ④そう思わない ⑤まったくそう思わない
- ア)日本学生支援機構からの情報提供は十分である 18ア
- イ)現在、奨学金の返還が負担になっている 18イ
- ウ)借りたものなので必ず返さなければならない 18ウ
- エ)延滞している人への回収は強化するべきである 18エ
- オ)延滞への対応がきびしい 18オ
- カ)現在の貸与型の奨学金のみでなく、給付型の奨学金が必要である 18カ
- 19 今までに奨学金の返還を延滞したことがありますか。あてはまる番号を一つ記入してください。 19
- ①延滞したことがない ②延滞したことがある ③わからない
- 19-2 設問19で「②延滞したことがある」と回答した方にお聞きします。
(「①」又は「③」と回答した方は設問20へ)
- 19-2ア
- ア)延滞になったことをどこから知りました。
あてはまる番号を全て記入してください。
- ①機構(旧日本育英会)からの振替不能(延滞)通知 ②機構(旧日本育英会)からの電話 ③連帯保証人・保証人からの連絡
④口座残高を確認して ⑤親・家族等からの連絡 ⑥債権回収会社からの連絡
⑦その他()
- イ)延滞をどのように解消しましたか。あてはまる番号を全て記入してください。 19-2イ
- あてはまる番号をすべて記入してください。
- ①本人が延滞額を支払った(口座振替を含む) ②本人以外が延滞額を支払った(口座振替を含む)
③猶予願が承認された ④その他()
- ウ)延滞した場合の返還方法は主に払込票(銀行・郵便局窓口)によるもの 19-2ウ
- ですが、延滞をより早く解消できたと思われる返還方法はありますか。
もしあれば、あてはまる番号を全て記入してください。
- ①リレー口座からの引落とし(延滞額の一部でも) ②機構の口座への振込み ③払込票(コンビニ支払い)
④インターネットバンキング(振込) ⑤債権回収会社 ⑥その他()
- 20 日本学生支援機構の奨学金は主にどのように役立ちましたか。最もあてはまる番号を一つ記入してください。 20
- ①学費に充てる金額を多くできた ②家計の負担を軽減できた ③アルバイトの時間を減らすことができた
④その他()
- 21 日本学生支援機構の奨学金について、ご意見等がございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。